

# 営農だより 第11号

## 目標

- ①「米ぬか入り肥料」の施用により、循環型農業の実践
- ②粒張が良く、食味値 80 点以上の良食味米

## ～出穂後の水管理はお米の長さ・幅・厚さを決める重要な時期になります!!～

コシヒカリの出穂が始まっています。7月中旬時点での出穂予想より若干早まっているように感じます。7月後半は一時的な降雨があったものの天候に恵まれ、気温・日照時間は例年と比較し大幅に増加しました。峰の雪もちは乳熟期となり、コシヒカリも穂揃い期を迎えているほ場が多いかと思えます。今後は水管理と積算温度に注視していきましょう。

(※出穂期とは穂が50%出た日で、穂が見え始めた日ではありません)

8月、9月も気温が高く、晴れの日が多くなることが予想されています。今後は良食味米に仕上げる為、**登熟をいかに向上させるかがポイント**となります。高温障害に気を付けながら**間断灌水を徹底**し最後までしっかりと水管理を行い、稲体を最後まで健全に保ち充実した粒に仕上げましょう。出穂期からの積算温度により収穫適期を見極めましょう。

また、気温が高い今年は**カメムシが多発**しています。毎年被害のあるほ場はカメムシの住環境が整っていますので**適期防除の徹底**（トレボン粉剤は、必ず2回散布）をお願いします。

暑い日が続きますのでこまめな休憩と水分補給を必ず行い、体調管理に気を付けましょう。

### 【御殿場の気象】アメダスデータ御殿場

項目	平均気温 (°C)			日照時間 (hr)			降水量 (mm)		
	本年	平年	差	本年	平年	%	本年	平年	%
4月 計	12.8	11.5	1.3	153.9	161.3	95.4	383.5	252.6	151.8
5月 計	15.9	15.9	0	168.1	158.6	106.0	270.0	243.7	110.8
6月 計	19.5	19.2	0.3	119.4	103.0	115.9	139.0	312.5	44.5
7月前半 計	23.4	22.1	1.3	50.7	50.0	101.4	58.0	206.2	28.1
7/16～20日	23.4	23.1	0.3	18.9	19.6	96.4	77.5	49.9	155.3
21～25日	25.0	23.5	1.5	40.0	21.4	186.9	10.0	44.9	22.3
26～31日	25.4	24.0	1.4	43.7	28.5	153.3	123.5	46.4	266.2
7月後半 計	24.6	23.5	1.1	102.6	69.5	147.6	211.0	141.2	149.4
7月 計	24.0	22.8	1.2	153.3	119.5	128.3	269.0	347.4	77.4

### 水稻栽培履歴管理簿回収について

#### 令和4年産 水稻栽培履歴管理簿（使用資材等の記入）

上記管理簿を8月下旬に部農会で回収させていただきますので必ず記入をお願いします。記入用紙を紛失された方は最寄りの営農経済センターまでご連絡ください。

おいしいをつくりましょ。

富士伊豆農業協同組合

発行 令和4年8月5日  
北駿産米改良推進協議会  
JAふじ伊豆御殿場営農経済センター  
TEL: 0550-84-4820

【管内水稻生育状況】 株間平均 19.3 cm

7月29日(金)現在

場所	標高 (m)	植付本数	茎数 (本)	茎数 /m <sup>2</sup>	草丈 (cm)	葉齢	葉色	出穂期 穂が5割程度 出揃った頃	田植え日
神山(町屋)	295	3.5	16.3	295	92.9	12.6	3.7	7/28	5/3
吉久保	370	4.1	21.1	321	94.4	13.0	3.7	7/27	5/1
大堰	400	3.6	22.9	353	91.6	12.9	3.7	7/31	5/3
用沢	460	3.3	19.2	339	95.2	13.5	3.7	7/30	5/8
仁杉(カトリ-周辺)	500	4.4	20.2	364	84.5	13.0	3.9	8/3	5/6
中畑	550	3.2	14.8	260	85.3	12.8	3.8	7/31	5/2
上柴怒田	610	2.6	15.7	310	95.6	14.0	3.7	8/4	5/6
平均		3.5	18.6	320	91.4	13.1	3.7		
R3 同時期		4.0	22.1	384	85.7	13.1	3.7		

御殿場市の平均積算温度(出穂期からの積算温度) ※御殿場観測所(御殿場市萩原 標高 472m)

日付	平均気温	出穂期			
		7/25	7/26	7/27	7/28
7/25	26.1	26.1			
7/26	23.8	49.9	23.8		
7/27	24.1	74.0	47.9	24.1	
7/28	25.8	99.8	73.7	49.9	25.8
7/29	26.2	126.0	99.9	76.1	52.0
7/30	26.0	152.0	125.9	102.1	78.0
7/31	26.2	178.2	152.1	128.3	104.2
8/1	26.3	204.5	178.4	154.6	130.5
8/2	27.1	231.6	205.5	181.7	157.6
8/3	27.7	259.3	233.2	209.4	185.3

8月、9月は高温が予想されます。出穂期(出穂 5～6 割)からの積算温度 1,000 度を目安に収穫時期を予想しましょう。  
(※1,200 度を超えないように)  
標高によって気温が違いますので左表を参考にしてください。  
(標高差 100m で±0.5°C修正)

※コシヒカリも峰の雪もちも積算温度は 1,000°Cを目安とします。

水稻の収穫期は積算温度から予想することも可能です。

「気象庁 過去のデータ」で検索すると毎日の平均気温が掲示されていますので、ご確認ください。

## 重要

### ～ 出穂後 25 日までの水管理 ～

出穂前後は飽水管理を行ってください。長期の湛水は病害の発生や根を傷めるので気をつけましょう。その後の管理として、落水を早めると根の機能が低下する為、稲全体の活力が低下し、枯れ上がり加速させます。稲全体の活力低下は着色粒の発生を招き、また枯れ上がりは籾の水分が急激に下がる為胴割粒の発生も助長します。コンバイン収穫に支障がない限り、落水時期を遅らせる事が重要です。(詳細は裏面参照)

### ◎水管理における用語説明

**湛水**：水田に水を張り、溜める。

**間断灌水**：湛水・落水を数日間隔で繰り返す。

**飽水管理**：水尻は止水し、自然減水で田面の水がなくなり、溝や足跡の底に水が溜まる程度になったら灌水する。

**走り水**：水尻まで水が届く程度の入水。

### ◆水管理のポイント◆酸素と水が必要な時期です(80%湿っていれば良い)

#### 〔方法1〕間断灌水

①さっと流し、水を溜めない。

②水が引いてヒビが入る直前に入水。

#### 〔方法2〕溝切りした溝だけに入水する。

(6条前後の溝切りしたほ場)

(田面には水が乗らないように、溝に常時入水する)

①草丈伸長抑制による倒伏軽減。

②出穂後遅くまで根に水・酸素を常時供給できるので登熟が良くなる。

(下葉が枯れにくい)

③溝以外は乾きコンバイン作業も可能となる。

入水口は溝とつなげるが、出口はつなげない。(水を溜めるため)

溝にだけ水を入れる。根に酸素と水が供給される。  
田面に水が乗らないので乾きやすい。

必ず現場へ行き  
入水の確認!!

### ◆登熟期にかけての水管理

出穂期・登熟期間は水を必要とします。

玄米は初めに長さ、次いで幅、最後に厚みが決定します。

**長さ**：開花後およそ5日頃

**幅**：開花後およそ15日頃

**厚み**：開花後およそ20~25日頃

早期に落水をしてしまうと、厚みのない(粒張りのない)米となってしまうので気を付けましょう。

上図の〔方法1〕〔方法2〕を行い、常に土壌が湿っている状態を保ちましょう。

(最低25日間は落水しない)

### 【飽水管理の様子】

土を握って水が出てくれば大丈夫です!

### 高温障害に気を付きましょう!

今年は気温が高く、8月、9月も高温になることが予想されています。出穂後の気温により高温障害が懸念されますので、天気予報を確認しながら水管理により高温障害を予防しましょう。

出穂後10日間の間：最高気温が35℃を超えると胴割れ発生の危険が高まる。

出穂後20日間の平均：最高気温32℃、平均気温27~28℃、最低気温23~24℃を超えると白未熟粒が発生しやすい。

また夜間に30℃を超えると稲の呼吸を増幅させ、日中の光合成で作ったデンプンが消費されてしまうため穂まで供給されず、登熟不良による乳白米(白未熟粒)を引き起こす原因となります。

#### 《対策》

かけ流しにより稲体や地温を上げないようにしましょう。

### 特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」にご注意ください!!

特徴：葉先がややとがり、節から一対の葉。茎の中が空洞。

**発見したら草刈りは行わず、根元から取り除きましょう!!**  
**刈り取ったり引きちぎったりすると断片から発根し拡散していきます!**

#### 【対応方法】

**水田内**：・水稻収穫後(秋起こし10日程前)に除草剤(タッチダウンIQ・ラウドアップ<sup>®</sup> ML等グリホサート系を1,000ml/10a(100倍)散布。  
・河川から入水を行っている場合は入水口に「ネット」や「ざる」をとりつける。

**畦畔**：・草刈りによって断片が侵入する恐れがあるので、**稲刈り終了後**、除草剤で除草を行う。  
・**除草剤散布には飛散防止措置を行い野菜等にかからないよう注意する。**

**水路回り**：・**除草剤は使用しないで**、遮光率の高いシート等で覆い、枯死させる。シートで覆っても完全枯死するのに1年半から数年かかるので、耐久性があるシートを使用する。

**その他**：・ナガエツルノゲイトウが確認された圃場ではトラクターなどの農機具の移動の際には泥落としや洗浄をしっかりと行いまん延を防ぐ。

JAふじ伊豆のホームページにも営農だよりを掲載しています。  
ぜひご利用ください。右の二次元バーコードより閲覧できます!!

